



< 公民館講座 活動風景 >



伊敷公民館前期講座が終了し、夏季講座がスタートしました。前期14の講座には約360人の、また夏季11講座には子どもたちや家族などから約300人の応募がありました。(抽選にもれた皆様、ぜひ次回もご応募くださるようお願いいたします。)以下に活動の様子(感想)を紹介します。



自主学习グループの方々が講師となって頑張りました!



<挑戦!親子で楽しく魚釣り>
子供と楽しい時間を過ごせた。良い思い出づくりができた。だんだん遠くに投げられるようになってきてうれしかった。また参加したい。

<初めてのハーモニカに挑戦>
小学校以来、久しぶりにハーモニカにふれ、吹けるようになり、心を和ませてくれる心地よく楽しい時間だった。参加して良かった。

<これから始める資産の形成・運用>
世の中の移り変わりが早く、もやもやしていたお金のことについて理解できた。早速役に立つこともあった。人生を楽しみたい。



<親子でレッズイングリッシュ>
歌ったり踊ったり工作をしたりして楽しく学ぶことができた。読み聞かせなどの工夫されたプログラムで飽きることなく親子で過ごせた。英会話を始めるきっかけになった。

親子や子供たちを対象とした夏季講座も盛りだくさん♪



【親子でピザづくり】



公民館後期講座 9月1日から募集開始



受講された皆様からご好評をいただいている公民館講座の後期募集が9月1日(日)から始まります。9月20日(金)までの**必着**ですので、お間違えのないようご応募ください。

- 親子で・・・ クリスマスケーキづくり、クリスマスリースづくり、イングリッシュ
- 成人向けに・・・ 歴史、パソコン、スマホカメラ、陶芸、気功、料理、ウォーキング
- 高齢者の方々には・・・ スマホ、合唱、専門家に聴く など

各種開設してご来館をお待ちしております。<詳しくは> ↓

8月下旬発行の公民館だより「9月号」や「市民のひろば」、インターネットでご覧ください。



8月は人権同和問題啓発強調月間です



私たちは、誰もが幸せに生きてほしいと願っています。同時に、家族や友人などまわりの人々の幸せも願っています。しかし、私たちの周りには、様々な人権問題（女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、外国人、HIV感染者・ハンセン病元患者等、犯罪被害者等、北朝鮮当局による拉致問題等、性的マイノリティー、インターネットによる人権侵害、その他）があります。

また、近年では、職場における各種ハラスメントや感染症に係る差別なども問題視されるなど、多くの人権に関する課題が提起されています。

すべての人々が幸せに生きるためには、私たち一人一人が人権問題について正しい理解と認識を深め、お互いを尊重し、相手を思いやる心で、人間関係を築いていかなければなりません。

昭和40年8月11日に国の同和対策審議会から、「同和地区に関する社会的及び経済的諸問題を解決するための基本的方策」について答申が出されたことにより、8月を「**人権同和問題啓発強調月間**」と定めています。

この期間に、家庭や職場で、身近にある人権問題について話し合い、人権意識や人権感覚を高める契機としましょう。



「水難事故0をめざして！」

7/20(土)～9/1(日)は、小中学生の夏休み期間です。

暑さ厳しい中、涼を求め水に親しむ機会が増えますが、悲しい水の事故も多く報道されている現状にあります。

※ 水の事故から命を守るため、事前に危険箇所の点検をし、家庭や地域、関係機関・団体が協力・連携しながら、期間中、安全指導、安全管理を徹底していきましょう。

○ 水に親しみながら3M運動 『みんなでめざそう 水の事故ゼロ』

《 hotな読書会 開催しました 》

伊敷公民館図書室では、毎年1回「hotな読書会」を開催しています。図書室利用者の皆様が普段どのような本を読んでいるのか、“おすすめの本”を紹介していただき、意見交換するイベントです。今回の参加者からは「読書好きがこんなにいたんだ！と嬉しくなり、どの紹介本も興味がわきました。」との感想をいただきました。

皆様もぜひ公民館図書室に来室され、読書家の皆様が紹介された本をご覧ください。

【読書会で紹介された本の一覧】

- ・『精霊の守り人』 上橋菜穂子 偕成社
- ・『養老先生、病院へ行く』 養老孟司 エクスナレッジ
- ・『人類の奥深くに秘められた記憶』 モアメド・ムブガル・サール 集英社
- ・『にほんのうた 音曲と楽器と芸能にまつわる邦楽通史』 みの KADOKAWA
- ・『私がつかんだコモンと民主主義』 岸本聡子 晶文社
- ・『ムンジャクンジュは毛虫じゃない』 岡田淳 偕成社

